

マイナ保険証の強制やめて、 現行の保険証の存続を



保険医協会がマイナ保険証問題で控室を訪れました。

保険医協会は会員の医師たちにマイナ保険証に関わるトラブルについてアンケートを行っています。今年の5月以降でも7割の医療機関で資格確認ができないなどの不具合があったとのこと。現行の保険証を存続すべきです。

住民のみなさんからは「マイナ保険証にしないといけないの？」との不安の声が届いています。マイナ保険証への切り替えをしなくても大丈夫との周知をひろげるべきです。



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2024年9月10日 NO. 25
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1
TEL 048-824-3413 FAX 048-825-1048

進む基地強靱化 県の担当者と懇談

9月6日、平和委員会の方たちとともに自衛隊基地の強靱化の問題、オスプレイの飛行の問題などで県の担当課との懇談を行いました。

基地の強靱化について県には事前説明等はなく、聞いても「答えを差し控えたい」と言われるとのこと。

強靱化は他国からの攻撃に備えているわけです。攻撃されれば周辺住民の命に関わります。県には県民の命と生活を守るためにしっかり追及してもらいたいと求めました。



県の災害用備蓄品などについて塩川衆議院議員とともに担当課から説明を受けました。

県は東京湾北部地震で5万4千人の避難者が出るとの想定で、市町村と合わせて3日分の食料、毛布、ミルク、おむつ、携帯トイレ、などを備蓄しています。

能登半島地震では想定よりも多くの避難者が出て、食料が足りなくなりました。常に見直しが必要です。

9/1 防災の日。

台風10号の影響で所沢市主催の防災訓練は中止でしたが、事務所でハザードマップの確認やシェイクアウト訓練などをおこないました。



フッ素化合物(PFAS)問題で国へ要望

党県議団、狭山・入間・川越市議団、塩川鉄也衆院議員、伊藤岳参院議員、梅村さえこ比例予定候補、猪俣9区予定候補とともに政府要望。

狭山・川越市では高濃度のPFASが検出されており、隣接する入間基地の影響が懸念されています。(さいたま市でも汚染が明らかに)

原因究明と汚染源の特定・除去、環境基準の制定や調査対策費への助成、自衛隊基地内の汚染状況の調査・公表を強く求めました。



PFAS 問題で県へも要望



党県議団、狭山・入間・川越市議団と大野知事に対し汚染源の特定や除去、調査・対策費の予算確保と国への要請などの申し入れをおこないました。



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2024年10月8日 NO. 26

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-824-3413 FAX 048-825-1048

県水道料金引き上げを 考えるシンポジウム

主催 日本共産党埼玉県委員会



県水値上げ！？ 命にかかわる大問題

県は2026年から水道料金を23%程度値上げする計画で、12月定例会に関連議案が提出される見込みです。

県水道料金引き上げが、市町村の水道料金のさらなる引き上げにつながりかねません。物価高騰で県民の生活が困窮する中、これ以上の引き上げは命に関わる問題です。党県議団は、一般会計からの繰り出しを行って引き上げを抑えるべきだと主張しています。

このシンポジウムで、私はパネリストの1人としてお話ししました。

ガザに平和を一元イスラエル軍兵士が請願

埼玉県議会 9 月定例会が 9/25～10/16 の会期で始まりしました。

開会日に「イスラエルによるガザ攻撃の即時停止と人道支援を求める請願」が提出され、党県議団は紹介議員になりました。

請願者のダニーネフセタイさん(皆野町に住む元イスラエル軍兵士)がご挨拶に来られました。



学校給食を無償に 3万9千を超える署名提出

安全な地元農産物の活用と学校給食の無償化をめざす埼玉連絡会の方々が県庁を訪れ、署名を提出し、副知事と懇談しました。私も同席し、「給食費無償は県民の大きな願い。ぜひ受け止めていただきたい」とあいさつしました。



ノーベル平和賞受賞 埼玉県原爆被害者 協議会の方との懇談

埼玉県原爆被害者協議会(しらさぎ会)の方と懇談しました。核兵器のない世界へ！粘り強く声をあげ続ける事の大切さをあらためて実感しました。

所沢にある被爆石(写真上)で、毎年ここで慰霊祭を行っています。



埼玉県委員会と県議団は18日、2025年度の県施策と予算編成に対する重点要望・提案を大野元裕知事に手渡し、懇談しました。

要望内容は県水道料金の令和8年度からの23%引き上げ方針は撤回することなど合計352項目です。



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2024年11月19日 NO. 27
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1
TEL 048-824-3413 FAX 048-825-1048



決算特別委員会

9 月定例議会閉会の翌日(10/17～11/11)から 2023 年度決算審査が行われました。県議として初の決算審査に臨みましたが、新たな課題も浮き彫りになりました。

12 月定例議会も間近に迫っています。

県民要求の実現へ、党県議団も力を合わせて取り組んでまいります。

さやま大茶会

狭山茶議員連盟で参加させて頂きました。

お茶摘み、パッケージ、茶殻の飼料化、製品・販売を県立の狭山工業・所沢商業、狭山清陵高校(分校)、入間わかさ特別支援学校の 5 校連携で取り組んでいます。

6 月定例議会で提案した「全国狭山茶化計画🍵」を実現したいです。



新所沢駅西口で小林市議と議会報告

11/8の決算特別委員会で県水道料金 23%引き上げの質疑内容を報告。

物価高騰のなか命に直結する水道料金の引き上げは撤回を！

副知事などの特別職と県議会議員の一時金引き上げに反対



12月定例会に副知事や公営企業管理者、下水道事業管理者などの特別職の一時金を0.05か月引き上げる条例案が出されました。特別職の一時金引き上げは県議会議員の一時金引き上げに連動します。

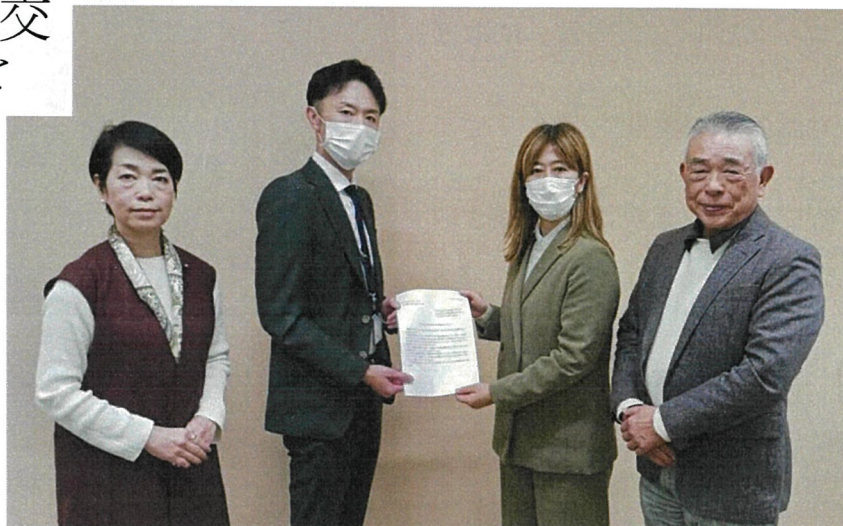
私は総務県民生活委員会で「物価高騰で苦しむ県民に新たな負担を求めながら、特別職の期末手当を引き上げることは認められない」と反対討論を行いました。

請願の審査では共産党が紹介議員になった「インボイス制度の廃止を求める請願」について、自民党が継続審査を求める動議が出され、「インボイス廃止も含めた検討を求める意見書案を提出する」とのことから、継続審査に同意しました。

ソコラ所沢西側交 差点信号機設置を

北秋津・上安松土地区画整理事業による商業施設や住宅、マンション建設などで交通量が増加しています。

埼玉県警に対し、中井市議や地元住民とともに早期の信号機設置を要望しました。



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2024年11月24日 NO. 28
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1
TEL 048-824-3413 FAX 048-825-1048

ゆきとどいた教育を進めるための埼玉署名



今年は 38774 筆の署名とともに、生徒からは「お金の問題で行きたい学校を断念した」「声なき声を聞いて欲しい！」

保護者からは「不登校児童生徒への支援を」

教員からは「未配置、未補充で教員のいない時間が出ている」「子どものいのち、安全、安心がかかっている」など切実な実態が県へ届けられました。教育費の負担軽減を、少人数学級を、教育予算と教職員を増やして！

決算特別委員会や12月県議会の内容をご報告しながら、地域を訪問。

党県議団として有機農業の支援を議会でも提案してきました。所沢市は県内2番目に「オーガニックビレッジ宣言」に取り組んでいます。

対話の中で課題も見えてきました。

有機農家の支援に引き続き取り組みます。



水道用水料金・下水道負担金の引き上げに反対—12月議会



12月定例会が閉会しました。

党県議団は2023年度決算認定や県が自治体に供給する水道料金の引き上げ、下水道の負担金の値上げなど、知事提出の議案12件、議員提出議案2件に反対しました。

県は県水料金・下水道負担金の引き上げは市町村の料金引き上げにつながります。物価高騰のなか、23年度、経済的困窮で給水を止められた事例は3万9000件で、2年間で4000件も増加しています。これ以上の値上げは認められません。

所沢市は下水道管の緊急点検を実施



八潮市の流域下水道に起因する道路陥没事故が起きたことを受け、所沢市の上下水道局に所沢の状況をお聞きしました。市民からも問い合わせがきています。

市はストックマネジメントで市内の下水道管の調査を進めているとのことで、2月3日より緊急点検を実施。その結果、異常は見られなかったとのことでした。

エネルギーや資材の高騰で老朽化した管の敷設替えにも経費が以前よりかかっており、生活に欠かせないインフラ整備こそ国や県、自治体の責任でしっかりと対応すべきです。

医療的ケア児と家族への支援拡充を

医療的ケア児への支援を求め、県に対し保護者のみなさんと要望書と署名を提出。保護者からは「子どもの介護で夜、寝ることも働くことも制限されている！」など、切実な実態が話されました。医療的ケア児と家族への支援は、まだまだ不十分です。党県議団も全力で支援拡充に取り組んでまいります。



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2025年2月11日 NO. 29

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-824-3413 FAX 048-825-1048

受験を狙った痴漢は許さない

国に対し、伊藤岳参議院、山添拓参議院、吉良よし子参議院とともに要請を行いました。(写真左)



県警では駅や電車に乗り込み、私服と制服警官の増員で警備にあたっています。緊張しながら会場に向かう学生を狙う行為は許せません。

県議団では、県にも申し入れました。日頃からの包括的性教育も重要です。

【受験生のみなさん】

- ・私服で受けて大丈夫です。
- ・痴漢被害にもしあったら追試も受けられます。
- ・受験日にもし被害にあったら、後日の被害届でも大丈夫です。

保育士の処遇改善は待ったなし！

伊藤岳参議院議員と保育園を訪問。
保育士の確保に苦労している！
保育士の処遇改善は待ったなし！現場からは悲鳴の声があがっています。





2月12日、昨年10月に埼玉県委員会と県議団が行った2025年度予算要望について回答があり、知事と懇談しました。その際、「八潮の事故は下水道管の老朽化など全国的な課題を浮き彫りにした。点検や老朽化への対応など本来国がしっかり財政的支援を行うべきであり、県民に負担を押し付けるべきではない。強く国に要望していただいきたい」と要望しました。

知事は「まずは第三者委員会で原因究明を行い、その上で国に対してはしっかりと要望していく」と述べました。

八潮の道路陥没事故を受け要望

2月19日には「八潮市道路陥没事故にかかわる緊急要望」を齋藤邦明埼玉県議会議長に提出しました。議長を通じて、埼玉県に提出されます。八潮の道路陥没事故は、未だ落下したトラック運転手の救出はかなわず、周辺住民への営業・生活はじめ、流域120万人の下水道利用に多大な影響を及ぼし、周辺河川への下水放流が行われるという未曾有の大被害を生み出しています。

被害を受けた方への補償や過去5年間の下水道管や水道管の劣化・腐蝕・破壊など道路陥没事案一覧出すことなどを要望しました。



城下のい子の 県政 Weekly ニュース

発行 日本共産党埼玉県議団 2025年2月24日 NO. 30
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1
TEL 048-824-3413 FAX 048-825-1048



国保税の負担軽減を

社会保障推進協議会の方たちが県庁を訪れ、国民健康保険税について要望書を手渡し、懇談しました。私と山崎すなお県議が同席しました。

国保税はあがり続けており、負担は限界です。

県が進める法定外繰入の解消や保険税水準の統一化が国保税引き上げに拍車をかけています。

県庁舎は現在地での建て替えを

県庁の本庁舎は2031年に築80年をむかえます。県は老朽化した県庁舎の再整備について、現在地（さいたま市浦和区）か、順天堂大学新病院の整備予定地（同市緑区）への移転のいずれかとする方針を発表しました。

それを受け、現在地での建て替えを要望しました。



県道東京所沢線に おける歩道補修を

中井めぐみ市議や地元の方たちと、歩行者の安全確保のための歩道補修について申し入れました。